



元気で活力あるまち [産業・観光]

農業のまち、小清水は、まちづくりも元気です。地域に密着した商店街の活性化や特産品の開発にも力を注いでいます。まちに活力を与える観光では、多様な生態系に恵まれた小清水原生花園やリリーパークに国内外から観光客が訪れています。

Current Situation - Industry and Tourism

The Koshimizu Potato Festival is the town's largest event. Yuri no Sato Koshimizu Lily Park and campsites attract visitors in summer, and hot-air balloon rides can be enjoyed in winter. Michinoeki Hanayaka Koshimizu serves as the base for sightseeing.

※記事内に連絡先がないものはすべて小清水町観光協会 TEL 0152・62・3217

小清水のイベントスケジュール

7月

はな花フェスティバル
道の駅「はなやか(葉菜野花)小清水」と小清水原生花園を会場にした新イベント。原生花園の自然観察会あり、地元グルメや特産品コーナーあり。無料シャトルバスが運行し、福太郎(株)小清水北陽工場の見学もできる。

インターナショナルオホーツクサイクリング

オホーツクの海岸線ならではの雄大な景観を楽しめるサイクリングイベント。雄武町から出発し、斜里町でゴールする。着順やタイムは競わず、1日で終わるメルヘンコース、2日間走る牧歌コース・満喫コース、3日間のフルコース別にエントリー。大自然に見守られてゴールの瞬間を目指す。

オホーツクサイクリング実行委員会事務局

TEL 0152・54・1361

小清水ふるさとまつり

じゃがいもフェスティバル
開基100年記念公園で開かれるまち最大のイベント。まちの特産じゃがいもにちなんだ楽しいゲーム「フライングポテト」や「ヒロくてGO!」、新じゃが直売、青空市・味覚市のほかステージショーが目白押し。ゆるキャラも登場し、盛大な花火が打ち上がる。



8月

ゆりフェスティバル

ゆりの最盛期に開かれる「ゆりの郷こしみずリリーパーク」のサマイベント。特設ステージでライブが開かれ、青空市場も立つ。

有限会社シナジーこしみず

TEL 0152・62・2903

小清水の産業 第二の通貨として定着 育児・結婚出産・高齢者支援 ふれ愛スタンプ

スタンプ事業の北海道第一号として1989(平成元年)から始まった支援事業。地元商店街を活性化させる第二の通貨として町内に定着している。スタンプ加盟店は商店街を中心に46店舗(2015年現在)。支払額100円に付き1枚のスタンプシールが配られる。専用台紙にスタンプシール



ル500枚を貼った満冊1冊で500円分の買い物ができる。1〜6歳までの子どもを持つ世帯と75歳以上の高齢者は、満冊台紙1冊で1000円分の商品券と交換可能。結婚した町民夫婦は満冊台紙5冊で1万円分の商品券と、出産時にも満冊台紙1冊で1万円分の商品券と交換できる(各自諸条件あり)。

年1度のお楽しみ抽選会は満冊台紙1人1冊で1回抽選。特賞1万円分の商品券をめぐって盛り上がる。一般財団法人ふれ愛こしみず
TEL 0152・62・2608

農業祭のカキ販売も人気 濤沸湖の恵み、漁業

ラムサール条約登録湿地の濤沸湖は、海水と淡水が混ざりあう汽水湖であることから多様な魚類が生息する。ワカサギ養殖やエビ漁など、内水面漁業の魚場として利

白銀の世界に浮かぶ熱気球

冬も気流が安定している小清水は、熱気球フライトに最適な地。一面の雪原に囲まれ、眼下にオホーツク海を堪能できる。

摩周気船

TEL 0152・67・7869



2月 小清水屋台村

町民有志グループ「これぞ小清水!!実行委員会」が企画した冬イベント。この会場から巨大でんぶんだんご世界記録が誕生した。町公認「恋するフォーチュンクッキー小清水町版」(YouTubeで公開中)の主な撮影もここでを行い、冬も元気な小清水町をアピールしている。



エゾマツやミズナラを植樹 治山の森植樹祭

オホーツク海岸に沿って広がる海岸防災林内の「止別治山の森」の一面を2000(平成12)年より「ふれあいの森」とし、森林整備活動をスタート。毎年6月の町民育樹祭で数本のアカエゾマツやミズナラ等を植え、自然と共生できる緑の環境づくりを続けている。

小清水町産業課商工観光係

TEL 0152・62・4481

